

コイノニア



神さまの導きのうちに、2学期がスタートしました。2学期はたくさんの行事があります。特に9月は楽しみにしている体育祭がありますね。“今年らしい”ステキな体育祭となりますように！

さて、今月の聖句は今年度の年間聖句を同じ箇所です。

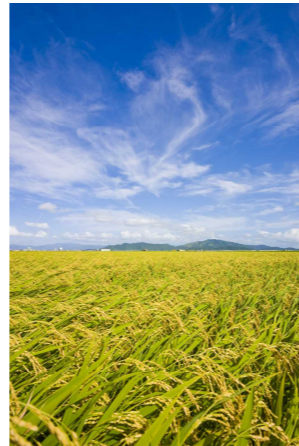
「恐れることはない、わたしはあなたと共にいる神。
たじろぐな、わたしはあなたの神。
勢いをあたえてあなたを助け
わたしの救いの右の手であなたを支える。」(イザヤ書41章10節)

もちろん、体育祭をおぼえてこの箇所を設定した部分もありますが、それだけではなく、特に3年生のみなさんの進路決定を祈りながら、この聖句を設定しました。

3年生のみなさんにとって2学期には進学・就職が決定するとても大切なときですね。エントリーシートや願書の作成や履歴書の清書など、自分自身を見つめながら志望理由を考えていると思います。担任の先生や顧問の先生、それぞれの学科の先生と相談しながら進路の準備に励んでいることでしょう。

そのようなときに、ぜひ、この聖句を思い出してください！

多くの人々が、みなさんのことを考えながら一緒に取り組み、手を差し伸べてくださいます。悩んでいることや不安なことも、吹き飛ばしてくれる支えがみなさんには与えられているのです。恐れず、たじろぐことなく、自分の将来に繋がっている道を堂々と歩いてください！いつでも、どんなときでも「救いの右の手」があなたの方に向けられているのですから。



基督教と音楽～これもあれも讃美歌?!～ #04「讃美歌21 533番」

〈讃美歌21 533番 どんなどきでも〉

- 1 どんなどきでも、どんなどきでも
苦しみにまけず、くじけてはならない。
イエスさまの、イエスさまの
愛をしんじて。
- 2 どんなどきでも、どんなどきでも
しあわせをのぞみ、くじけてはならない。
イエスさまの、イエスさまの
愛があるから。

この讃美歌は、作詞・作曲ともに日本人によって作られた讃美歌です。もともとは子ども向けの讃美歌なので、優しい言葉でとてもわかりやすい歌詞になっています。

「どんなどきでもイエスが私たち1人1人を愛して、支えて、守ってください。」

“苦難の中でも必ず慰めが与えられる”という基督教の本質を伝えている、優しくステキな讃美歌です♪

9月の予定 月間聖句

「恐れることはない、わたしはあなたと共にいる神。
たじろぐな、わたしはあなたの神。
勢いをあたえてあなたを助け
わたしの救いの右の手であなたを支える。」(イザヤ書41:10)

月間テーマ 「勝利をのぞみ」

14日(水) 国体壮行礼拝
国体に出場する選手たちを激励する礼拝です。

松山学院ものがたり #15 同志社で学んだ先輩たち(7-1) 野本数男



1927(昭和2)年3月22日に本校を卒業して同志社神学校に進学。同志社に入学する前の3月13日に松山教会で今井新太郎牧師から洗礼を受けた。彼の父親は「決してヤソ(クリスチャン)になるな」と言っていたため、野本数男は後に次のように語っている。

「父との約束を守れなかったが、夜学校でジャジソン先生、西村先生ご夫妻、そして二神先生他すばらしい先生方に出会い、教えられ、礼拝や祈り会に出席しているうちにキリストにとらえられていったのだ。」

また、彼を教えていた数学教師は竹内成一であるが、竹内は生徒がよく理解するまできちんと教えたので、野本は帰省するとよく竹内を訪ねた。この2人の出会いが「労研馒头」の誕生に繋がるのである。(次号に続く)

☆今月の「喜ぶ人と共に」大賞☆ マツガク“真夏の”生徒会活動

この夏、四国総体(インターハイ)を支えるために、
本校の生徒があちこちで活動しました！

(生徒会執行部・調理科・看護科の生徒が活躍しました☆)

